

第1学年 学級活動(2) 指導案

題材「けが0で、あんぜんにせいかつできるよ うになろう」 ウ：心身ともに健康で安全な生活態度の形成 目指す子供像 考え行動する子 育成を目指す資質・能力「着地力」「創造力」「協働力」	日 時 令和3年10月7日(木) 学 年 第1学年 9名 指導者 伊藤 光咲
---	--

児童について

本学級の児童は、日頃から学校のきまりを守って行動しようとしている児童が多い。しかし、校舎内で安全に生活することについて日常的に考えられる児童は少なく、廊下を走ったり、教室内で走って遊んだりしてしまう姿も見られる。また、実際に遊んでいる最中に友達同士でぶつかったり、狭い場所で遊んだりしてけがをしたこともある。

学級の人数が少ないこともあり、これまで大きなけがやトラブルになったことはない。そのため、児童は、危険を予測して行動する大切さや意義には意識が向いていない。そのような状況で、教室から廊下へ飛び出したり、狭い所へ好んで入って遊んだりしている様子が見られ、危険だと感じている。大きなけがになる前に、身近に潜んでいる危険に気付かせたいところである。

事前に実施したアンケートでは、校舎内で経験したことがあるけがについて記述しており、「体育館でひざをすった」「教室の机にぶつかった」「ろうかで転びそうになった」などの回答があった。日頃から危険な瞬間があるようである。

題材について

本題材は、学級活動(2)ウの内容を取り上げる。心身の機能や発達、心の健康についての理解を深め、生涯にわたって積極的に健康の保持増進を目指すものである。日常の健康や安全に関する問題に自ら気付き、必要な情報を進んで収集し、よりよい解決方法を考えて、自己の健康や安全を保持増進するために的確な意思決定や行動選択を行うなどの活動が中心となる。安全に気を付けて過ごすことの大切さについて考え、学校生活を安全でよりよくすることをねらいとしている。より身近な学校での安全について考えることで、自分自身を振り返りやすくなると考える。安全な学校生活を送ることで、元気な体を保つことができたり、周りの人たちも安心して楽しく生活できたりすることに気付き、安全な生活について自分自身を振り返りながら、改善していく点や今後の生活について自己決定ができると考える。

指導について

指導にあたっては、以下の点に留意する。

「つかむ」場面では、身の回りの危険について考えさせたい。1学期に起きたけがが多いもののランニングや、校舎内のけがが起きやすい場所について養護教諭に話をしてもらい、実際に児童が経験したけがを想起させながら、身の回りに危険が潜んでいることを自分事として捉えさせたい。

「さぐる」場面では、校舎内の「教室」「階段・ろうか」「体育館」の三か所に焦点を当てて考える。「教室グループ」「階段・ろうかグループ」「体育館グループ」に分担し、けがの原因となる行動について場所ごとに動作化して考え、発表させる。聞き手には、どんなところが危なかったのかを考えさせ、交流できるようにする。その際に、児童の実態において最も身近である、「廊下への飛び出し」、「狭い場所での遊び」が危険であることには必ず気付かせたい。

けがの原因と危険について考えた後、どうすればけがをせずに生活できるかを考えていく。場所ごとにどのような行動が安全かを考え、全体で交流する。

「見つける」場面では、「これができたらけが0」リストを話し合いながら作成する。自分たちがどのような行動をすればけが0で安全に生活できるのかをまずはグループごとに出し合い、その後全体で考えていく。似ている考えはまとめながら児童の言葉で作成できるようにしたい。

「決める」場面では、自分が安全にけが0で過ごすための今後の目標を決定させ、交流する。決めたことは肯定的に評価し、実践意欲が高まるようにする。

評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲よくしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

指導計画

日時	学習活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
8月6日(金)	○けがアンケートに答える。		
10月7日(木) 【本時】	*「本時の展開」参照		◎けがなく安全に生活するための課題に気付き、自己目標を決定している。【思】〈発言・ワークシート〉
10月8日(金)～ 10月29日(金)	○自己決定したことを実践し、振り返りカードに記入する。	○継続的に取り組めるように、安全に気を付けることができたかがんばり表に記入させる。	◎自己目標に向けて実践している。【思】〈観察〉 ◎安全に生活することの大切さを理解し、目標を達成するために必要な知識・技能を身に付けている。【知】〈観察〉 ◎自身の安全な生活について振り返り、目標達成への見通しをもって、友達と協働しながら行動しようとしている。【主】〈観察〉
11月中旬	○学校での安全な生活について、交流会の中で保育園の年長児に教える。		

本時の展開

(1) ねらい

安全に校舎内で生活するための課題に気付き、学校生活を安全でよりよくするための自己目標を決定することができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点・支援	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
<p>つかむ</p> <p>1 けがなく安全な生活について課題意識をもち、本時のめあてをつかむ。 (養護教諭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校ではどんなけがが多いと思いますか。 ・校舎内のどこでけがが起きやすいと思いますか。 ・どの学年にけがが多いと思いますか。 <p>・けがをしたらどんな気持ちになりますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭が小学校で多いけがや、けがの多い場所・学年を話し、児童が自身の経験と結びつけて考えられるようにする。 ・校舎内でのけがも多いことに気付かせ、校舎内でのけがに焦点を当てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・体育館 <li style="width: 50%;">・教室 <li style="width: 50%;">・ろうか <li style="width: 50%;">・玄関 <li style="width: 50%;">・階段 <li style="width: 50%;">・トイレ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のけがをすることに対する素直な思いを引き出す。 ・校舎内での「けが0」を目指すために安全な学校生活について考えていくという見通しをもたせる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> けがをしないために、どうしたらいいかな。 </div> <p>2 本題材の活動の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの原因をみんなでさぐって、けがをしないためにはどうしたらいいか考えるということを確認する。 	
<p>さぐる</p> <p>3 校舎内でけがをする原因となる行動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして教室でけがをしてしまうのでしょうか。 <p>①グループで話し合う。 ・それぞれのチームの場所で考えてみましょう。</p> <p>②全体で交流する。 ・前に出て、どうしてけがが起きるのか動きながらやってみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室、体育館、ろうかの3つの場所で担当グループを分けて考えさせる。 ・まずは例として教室でのけがの原因となる行動について全体で考えさせ、児童の経験や発言をもとに写真を掲示し、視覚的に捉えさせる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走っていたから。 ・机と机の間で遊んでいたから。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「体育館グループ」「ろうか・階段グループ」「教室グループ」に分かれ、それぞれ担当場所でどうしてけがが起きるのかを考えさせる。 ・グループごとに、動作化してけがをする状況を表現させる。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・今の動きのどんなところがあぶないのでしょうか。 ・どうすればけがをせずに生活できるでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発表したことを、必要に応じて説明する。 ・発表をもとに、聞き手にはどんなところが危ないのかを考えさせ、交流する。 <div data-bbox="657 432 1163 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろうかは歩く。 ・まわりをみる。 ・みんなで同じ遊びをする。 ・物がたくさんある所で遊ばないようにする。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「これができたらけが0」リストへ反映されやすいように児童の考えを板書する。 	
見つける	<p>4 「これができたらけが0」リストを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことができたら「けが0」にできるか、グループで考えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体交流で出されたけがをしないための行動の板書をもとに、場所ごとでどうしたらよいのかをグループで話し合わせる。 <div data-bbox="657 1025 1163 1227" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎内は歩くこと。 ・せまいところで遊ばないこと。 ・まわりをよく見ること。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・考えがもてない場合は、校舎内での過ごし方など、小学校のきまりを想起させながら考えさせるようにする。 ・それぞれのグループで似た意見を児童と対話しながら一つにまとめていく。 <div data-bbox="657 1435 1163 1637" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>これができたら けが0！（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうじゃないはあるく ・ひろいところであそぶ ・まわりをよくみる </div>	
決める	<p>5 これから自分が頑張りたいことを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから頑張りたいことを1つワークシートに書きましょう。 <p>6 決めたことを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書に整理し、参考にさせる。 ・実践意欲が高まるように、肯定的評価をする。 ・目標を頑張ることができたら、自分たちから誰かへ「これができたらけが0！」を教えてあげてを提案し、目標達成への意欲を高める。 	<p>◎けがを無くすための課題に気付く、自己目標を決定している。【思】〈発言・ワークシート〉</p>

板書計画

④

けがをしないうために、
どうしたらいいかな。

つかむ

おいけが

けががおおい がくねん

たいいかん

ろうか

きょうしつ

こうしゃのなかでもけががおおい。

さぐる

どうしてけがをするのかな

写真

写真

写真

写真

写真

みつける

これができたら
けが0

きめる

じぶんのもくひょう

けが0

けが0で、あんぜんにせいかつできるようになろう

なまえ()

㊦ けがをしないために どうしたらいいかな。

ぼく・わたしは、

ことを がんばりたいです。

がんばりひょう

10/8	10/12	10/13	10/14	10/15
10/18	10/19	10/20	10/21	10/22
10/25	10/26	10/27	10/28	10/29

ふりかえり
